

NBC Plus+

vol.23

社長として生き、
会社という
道をゆく。

社長という
生き方。

REPORT

その ポート



1時間30分という講義時間はあまりにも短く、「もっとゆっくりとお話をうかがっていたかった」というのが、ご聴講いただいたお客様はもとより私ども企画サイドの本音です。また、非常にすっしりと重たい先生の講義は、決して消えることのない経営への警鐘となり、いつも私たちを導くものとなりましょう。残念ながらご参加いただくことができなかつた読者の皆さんに、先生の講義の一部をお伝えします。

坂本先生は、人財が殺到する会社に共通するキーワードを、
①オリジナリティ②バランス③景気・流行を追わない④意拡大をしない
⑤価格競争をしない⑥社員満足度が高い⑦仕入先・協力工場を大切にする
⑧顧客満足度が高い⑨提案営業⑩製版一体⑪新商品開発⑫財務力
⑬社会貢献⑭情報武装⑮経営者のリーダーシップ⑯総力経営とおっしゃいます。

「日本でいちばん大切にしたい会社」シリーズ著者、坂本光司先生をお招きし、「なぜあの会社には人財が殺到するのか?」をテーマにご講演いただきました。

2013.10.4 Seminar R

NBC Plus 読者感謝イベント終了!

社長へ贈る最幸 経営セミナー

速報

文:NBCコンサルタンツ株式会社

2013年10月4日(金)、累計発行部数22万部を突破したNBC Plusの読者へ感謝を込めて「社長へ贈る最幸の経営セミナー」と銘打ち経営セミナーを開催しました。

予想をはるかに上回るお申し込みをいただき、北海道から九州まで全国各地のお客様にお集まりいただきました。

「2・6・2から2・2・6」
自社は社会に
必要とされているか?

2・6・2。この比率はよく言われる「優秀な人が2割、普通の人が6割、パッとしない人が2割」といった、上位の2割が高い収益や実績・生産性を上げる優秀な人やグループ、中位の6割は上位とも下位ともいえない平均的な母集団、そして下位の2割の生産性が低い集団という法則や、あるいは、セールスやマーケティングなどで用いられる、2割が見込みの高い客、6割が日和見客、あと2割が見込み度の低い客…といった法則を表すのが一般的ですが坂本先生はこの2・2・6を「社会に必要とされている企業の分布」として私たちにご教示くださいました。そしてこの2・6・2という分布から、2・2・6と変化したこと教えてくださいっています。さらに、その変化は20年も前にさかのぼるとおっしゃるのです。

2・6・2の最初の2割というのは「好況でも不況でも社会の評価を受けている企業」を指しています。好況でも不況でも社会の評価を受けていると

—それを、

「恵まれた一握りの企業」と言うなれ。

ということは、つまり利益をあげていることを指します。坂本先生は厳しい口調で、「逆に残り8割近くの企業は利益を出していない」ということ。社会から利益を出すことを認められていないということです。利益を出すことを許さないと言われていることなのです。「あんない加減な企業からモノを貢つてなるものか」と言われているということなのです。「あんな企業に利益を出させてなるものか」って市場が言つているんです。見えざる手が見事に機能しているんです。」と指摘されました。

次の6割の企業は、好況になると利益計上できる一方で、不況になると利益を出せない企業。好不況問わず利益を出すことが不変的に支持される企業だとするのなら、景気によつて左右されるこれらの企業を坂本先生は「景気期待型企業」と呼び、「あんまり参考にならない企業」と指摘されました。

最後の2割は、好況でも不況でも業績を保つことができない、いわゆる赤字を垂れ流している企業です。「構造的不況企業…正直つける薬はナイ」と坂本先生はおっしゃいます。

「2・6・2」の真実

さて、2・6・2という分布は20年前に終わつた話。「20年前からこの国の分布は2・2・6に変わつた」との

ご指摘が、さらに厳しい警鐘として会場に響き渡り、空気がさらに張りつめました。2・2・6つまり、好況でも不況でも、社会に認められていない企業が全体の6割も占めるようになったとのこと。国税庁統計データによると平成23年度の中小企業欠損法人率は72・3%ですから、この2・2・6は妥当性があると捉えることができます。税金を納めていない企業が圧倒的多数なのですから、法人税を上げるとか下げる

るといった景気対策が思惑通りの結果を残すとは考えづらいでしょう。

さて、この分布から私たちは何を学ぶべきでしょうか。まず一つの着眼点としては、先生が静かに、しかし強い口調で繰り返しあつしやる「社会に必要とされているか」「社会が認めてくれているか」という点だと思います。

今や6割の企業は好不況関係なく、赤字を垂れ流す企業であり、それは「社会に認められていない企業」だとすればその事実を真摯に受け止め、私たち企業を「社会からの預かりもの」である企業を「社会に認めてもらえるような企業」にしていくこと、つまりは欠損法人からの脱却をはからなくてはならないわけです。

5つの言い訳

坂本先生のご著書や講演で紹介される企業は、いずれも非常にドラマチックで、絵にかいたようなすばらしい取り組みをされている企業ばかりですが、「そんなの恵まれた一握りの企業」だと言うなれ。そこで紹介される企業は、6割の企業が言い訳に使う「景気や「業種」「規模」「ロケーション」

最幸のセミナーでした！

最初の1分で勝負が決まるという言葉が印象に残りました。実践します！ 製造業／代表取締役

熱い熱い営業の基本を改めて勉強させてもらった。

自分自身のモチベーションのあげ方、部下のモチベーションのあげ方に對して見つめ直す機会が作られました。 広告・印刷業／代表取締役

情熱的なプレゼンテーションに感激しました。営業の仕方によってこんなに違いがあるとは…。もっとたくさん聞きたかった。 建設業／代表

最低でも目標予算達成！ 3倍稼ぎ続ける営業マン・営業マネジャーの創り方

- ・日本でいちばんの営業マンに共通するスキル・マインドを因数分解！「暗黙知」が「形式知」に変わる！
- ・日本でいちばんの営業マンに共通する「トップセールスマインド」とは？
- ・日本でいちばんの営業マンになるための「行動・思考習慣」とは？
- ・日本でいちばんの営業マンが持つ「人を動かす力」とは？
- ・日本でいちばんの営業マンは「高くても」「遠くても」売れる。自ら価値を生み出す「セールスロジック」とは？

講師

NBCコンサルタント株式会社
常務取締役 江中 錠一

第1部

日本でいちばんの
営業マンの「創り方」



「大企業や大型店の出店」などをものともせず、業績を伸ばす企業ばかりです。しかし、業績を伸ばしている企業が必ずしも「業績を伸ばそうとしてきた企業ではない」というのが、坂本先生が長らくフィールドワークされ、7000社近くの企業を訪問された結果わかったことだと言います。「業績は目的ではなく、結果、現象」なのです。では、どうしたら業績を高められるのか：先生の講義におけるその解はただ一つでした。「**社員を幸せにしたいと**

いう一心でやること。

坂本先生の考える「いい企業」とは、まず何より、人を大切にする企業。人

を犠牲にせず、人の幸せを第一に念じている企業です。辞職する社員がほとんどおらず、解雇なんてしたことがない…そういう企業こそ、本当の意味で「いい企業」なのだと思います。

最初の2割、つまり好不況関係なく利益を上げる企業からこそ「社員をいかに大切にしているか」を貪欲に学び、場合によっては模倣しなくてはならない。…先生から強いメッセージを受け取りました。

年に一度。 自社の社員満足度は？

時間に限りがありました。いくつかの企業をご紹介いたく中で、社員満足度：98点という驚異的な企業をご紹介いただきました。「1年か2年に1回は「社員が本当にわが社に満足しているか」を誰かに頼んで調べてもらつたほうがいいでしょうね。」と坂本先生はおっしゃいます。

社員満足度をはかるアンケートは無記名で実施することを坂本先生は推奨されています。所属部署だけ書かせるのがミソ。それは、営業にいるか、総務にいるか、管理にいるか、製造にいるか、開発にいるか、くらいはわかるまい…などおらず、解雇なんてしたことがない…そういう企業こそ、本当の意味で「いい企業」なのだと思います。

ここで紹介された企業は、社員満足度調査を毎年1回実施。今年の結果は社員の全員が回答し、各項目の平均点は98点。坂本先生ご自身も長いこと研究している中で、この数値は「ありえない」とおっしゃいます。通常70点を超えていれば、社員満足度は極めて高

いとの評価だそうです。

- ・給与に満足していますか？

- ・ボーナスに満足していますか？

- ・福利厚生に満足していますか？

- ・職場環境に満足していますか？

- ・理念に満足していますか？ …など

- ・上司に満足していますか？

- ・経営方針に満足していますか？

社員満足のファクターになり得ることを片つ端から聞いてみる。経営陣からすれば社員からの生の意見は非常に怖いものでしようが、これ以上に経営をはかるものはないかもしれません。

さいごに…

全国を飛び回る坂本先生。10月4日

当日も朝から超人的な移動とスケジュールをこなし、ご登壇くださいました。先生の口調は終始力強く、言うなれば、「社会への怒り」に満ち満ちているようにも感じました。

私たちも朝から超人的な移動とスケジュールをこなし、ご登壇くださいました。先生の口調は終始力強く、言うなれば、「社会への怒り」に満ち満ちているようにも感じました。

企業にとって本当に大切なことを教えてもらいました。

人財が殺到する会社の共通事項を1つでも多く実践したい。

卸売・小売業／代表

本日はありがとうございました。最後の権威や権限ではなく心や背中で道を示すという言葉が心に残りました。日々の中で忘れないことがちなことを再確認する時間でした。

運輸業／代表取締役社長

本で読むのとは違う 一つひとつ、改めて 考えさせられました。

「5つの言い訳」のお話を聞いて胸が痛くなる部分がありました。正しいかどうかで判断するという教えを大切にします。以前、先生の本を拝読しまして感銘を受けましたが、やっぱり実際にお話を伺うのが一番でした。貴重なお話ありがとうございました。

サービス業／代表取締役

なぜあの会社は人財が殺到するのか？
■企業経営とは“5人”に対する使命と責任を果たす活動のこと。

- (1)社員とその家族
 - (2)社外社員とその家族
 - (3)顧客
 - (4)地域住民・地域社会
 - (5)株主
- これを守り、人を“トコトン”大切にする経営を行う企業こそ日本でいちばん大切にしたい会社である。

講師 法政大学大学院政策創造研究科教授
同大学院静岡サテライトキャンパス長
坂本 光司先生

第2部

日本でいちばん 大切にしたい会社



社会保険料の負担って
もう少し軽くならない
もんですかね～～？



はい。 社会保険料は “大幅に削減” できます。

あなたは、まだ
無駄に高い
社会保険料を
払い続けますか？

こんなに高い！
経営者の社会保険料

平成21年度の国税庁「会社標本調査」によれば、中小企業経営者の平均年収は約1874万円（図1）。社会保険料を計算すると…年間約295万円（東京都・40歳～65歳未満の場合）の社会保険料を支払っていることになります。

多くの経営者の方からこのような声が聞かれます。法人税とは異なりたとえ赤字であっても支払わなければならぬ社会保険料…。さらに、厚生年金保険料率は平成29年まで毎年0・354%ずつ上昇し、その負担は年々増加。厚生労働省の推計によれば2015年度の社会保険料は現在より15%強も増え、年収の3割を超すと予測されています。

少子高齢化により今後の負担増が避けられない社会保険料に、頭を抱えている経営者の方が多いでしょう。

「社会保険料の負担って
もう少し軽くならない
もんですかね？」

図1 中小企業経営者
(全業種・資本金1億円未満)の平均年収

国税庁「会社概況調査(平成21年度分)
第5表合計(平成25年10月現在)

資本金階級	① 調査法人 事業年度数	② 業務主宰 役員給与	[千円] 平均年収 (②÷①)
100万円未満	519社	8,330,000千円	16,050千円
100万円以上 200万円未満	470社	7,973,000千円	16,964千円
200万円以上 500万円未満	28,777社	473,283,000千円	16,447千円
500万円以上 1,000万円未満	11,098社	180,516,000千円	16,266千円
1,000万円以上 2,000万円未満	56,621社	1,097,810,000千円	19,389千円
2,000万円以上 5,000万円未満	22,155社	450,082,000千円	20,315千円
5,000万円以上 1億円未満	7,061社	156,338,000千円	22,141千円
資本金1億円未満の 法人の累計		126,701社	2,374,332,000千円
			18,740千円

節税や経費削減には取り組んでいる
のに、社会保険料の対策は行っていない
。加入が義務づけられている社会
保険料は「必ず決まった額を払うもの」
と思い、その通りの額を支払っています
せんか?社会保険料は仕組みを理解し
適切な対策を行えば大幅な削減が可能
です(もちろん合法)。

さらに、社会保険料の削減には次の
通り、多くのメリットがあります。

健康保険の 保険料と給付内容

社員	月額報酬 20万円	社長	月額報酬 120万円
※1ヶ月あたりの健康保険料の差額は約11万円			
1ヶ月の健康保険料 (東京都/40歳以上)	23,040円	139,392円	
療養の給付	自己負担3割	自己負担3割	
入院時食事療養費	1食260円	1食260円	
高額療養費	1ヶ月の医療費が一定額を超えた場合の自己負担限度額	87,330円	155,000円
出産育児一時金	42万円	42万円	
出産手当金	約4,447円/日	約30,248円/日	
傷病手当金	約4,447円/日	約30,248円/日	
埋葬料	5万円	5万円	

社会保険料=経費であり、社会保険
料の削減は営業利益・キャッシュフロー
への回復につながります。
月額報酬が高ければ高いほど、もち
ろん健康保険料もたくさん支払ってい
る。

1 経費削減=増益に直結

社会保険料は営業利益・キャッシュフロー
の削減は営業利益・キャッシュフロー
への回復につながります。

なぜ? 今すぐ社会保険料を 削減すべき4つの理由

ます。にも関わらず、給付内容を比較
してみると、違いは「出産手当金」と
「傷病手当金」のみです。
しかし、これはよくよく考えると、
経営者の方にはほとんど意味がありま
せん。なぜなら、出産手当金と傷病手
当金は休職期間中に報酬をもらつてい
れば、給付が受けられないからです。

休職期間中も報酬をもらつている經
営者には意味がないのです。さらに、
「高額療養費」においても、月額報酬
が高ければ高いほど、自己負担額も高
くなります。

3 将来の年金の回収率が悪い

社会保険料は半分を被保険者本人
(社員)が負担し、もう半分を会社が
負担します。もちろん経営者の場合も
半分は自分で支払い、半分は会社が負
担します。しかし、この会社負担分は
経営者にとっては自分で負担している
のと同義。つまり、社会保険料全額を
自分で負担しているのです。それを
踏まえると経営者の場合は、支払っ
ている社会保険料に対し、将来受け
取る年金のコストパフォーマンスが
悪すぎると言えます。

4 そもそも、年金が貰えない?

現在の年金には「在職老齢年金」と
いう制度があります。在職老齢年金と
は、「厚生年金の受給権がある人が働
いている場合、年金の一部または全額
を支給停止する」という制度です。

さらに、年金が止められているにも
関わらず、保険料は支払わなければな
りません。つまり、経営者の場合は年
金受給年齢に達した時点でスッパリと
会社経営から引退するか、役員報酬を
下げなければ「本来受け取れる年金が
受け取れない」可能性があります。

あなたは、まだ 無駄に高い社会保険料を 払い続けますか?

繰り返しになりますが、社会保険料
は**合法**な手法により**大幅な削減**が可
能です。「そんな方法をずっと探して
いた!」「社会保険料の削減に興味が
ある」「社会保険料は削減できないと
あきらめていた」という方は、今すぐ同
様のチラシよりお申し込みください。

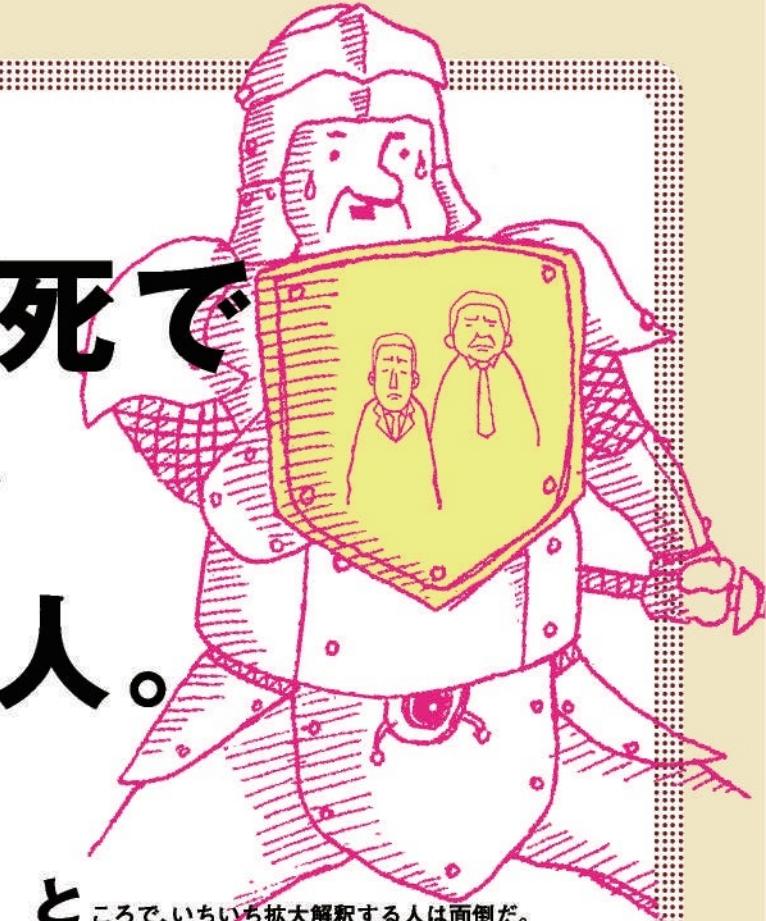
NBCの専任コンサルタントがどの
程度のメリットがあるか、そして「テメ
リットがないか調査・報告いたします。

守りに必死で 「本質」を 読めない人。

～「曲解」からの「自己防衛」～

「1 言えば10わかる！」という人がいい。日常的なことにいろんな気づきを持ち、鋭く豊かな動きができるといい。まっすぐ捉えて人のことをさも自分のことのように…そして「事実」を感じ過ぎるほうがいい。
何かトラブルがあったり、誰かが叱られていたら、耳をそばだてて、物事の善し悪しを吸収していくくらいの貪欲さがあつていい。

鬼 監督や鬼コーチからよく言われたのは「バカ！何やってんだ！○○だろ！▲▲ではうまくいかないぞ！」と言われた時に「バカ！何やってんだ！」しか聞き取れないヤツは伸びない。」ということ。
(愛がこもっているかどうかは別としても)
アテンションプリーズ！の意味の刺激的な罵りで耳を塞いでしまっているとしたら、それは次また同じことを言われるのを自ら選んだも同じ。
本質や意図を汲むチャンスを棒に振ってしまう。



ところで、いちいち拡大解釈する人は面倒だ。起きていることを、およそ事実とはかけ離れた大きさに引き伸ばし、感情むき出しにフルボリュームでまくしたてる。とりあえず、壊れた「秤」と「つまみ」を直してから出直してほしい。

でも、もっと面倒なのは、いちいち曲解する人だ。「自分を守る」ならまだしも「立場を守る」を先行させる人は概ね何についても「曲解」する。誰の話もマトモに聞けず、自分なりの解釈と抗弁が先行する。そういう人はマトモに前に進めない。多くの時間を「立場防衛」に費やし、自分の頭と心の中で、虚構と向き合って時間を潰し、不用意に人を傷つける。
「事実」を正しく捉え、「シンプル」に考える、そして「細かく」動く、アタマもココロも使い方！それが時間の使い方…創造性・生産性を追求しましょう。
仕事の遅い人は、結構くだらないことに時間をかけています。

(まつ)



NBC Plus
購読者募集!

皆様のご要望にお答えし、NBC Plusの購読者を募集いたします。お知り合いの社長様へも是非ご紹介ください。
(購読料は無料です)



Facebook

NBC Plus編集部がリアルタイムな情報を発信中。ここから新しいつながりが生まれる可能性も！今後の展開をお楽しみに！



無料!
メールマガジン

経営セミナーの先行案内や発刊書籍の情報を配信中！助成金・事業承継に関するコラムなどもお届けしています。
(毎週木曜配信)

詳しくはこちら

NBCコンサルタンツ

検索 www.nbc-consul.co.jp